

平成 23 年度 第 11 回石狩市行政評価委員会

日時：平成 23 年 7 月 26 日（火） 9 時 00 分～

場所：市役所 3 階 庁議室

企画經濟部 企画課

【会議次第】

1 開 会

2 議 題

(1) 施策評価「保健・医療の充実」について

4 その他

5 閉 会

平成23年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次評価者	所属	保健福祉部健康推進室
めざすまちのテーマ等	2 健康でしあわせに暮らすまち	(当該施策を担当する部長)	職名	室長
施策項目	(1)保健・医療の充実		氏名	藤田 隆
			TEL	72-7012

【1 施策の目的】

子どもから高齢者まで、各々のライフステージに応じた健康づくりの支援や、医療体制の充実により安心して健やかに暮らせるまちをめざす。

【2 計画策定時の状況】

各世代の健康づくりを推進するため、市民が健康的な生活習慣を身につけることが重要となっている。また、増え続ける生活習慣病の予防や、それに関連する食生活をめぐる環境の変化に伴い、食育の推進の重要性が増しており、そのための環境づくりや施策が求められている。 今後は、市民が自らの健康を守る「セルフ・ケア思想」の普及や一人ひとりがそれを実践していくため、保健・医療・福祉・介護・スポーツの連携のもとに、各施策を推進していく必要がある。

【3 成果指標】

	指標の名称					単位	H17実績値	H23目標値
指標1	生活習慣病予防健診等健康診査を定期的(年1回)に受けている人の割合(40歳以上)					%	41.1	
指標2	乳幼児健康診査に満足している保護者の割合					%	66.9	80.0
指標3	朝食を欠食する人の割合(20代から30代)					%	25	15以下
指標4								
	H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23目標値に 対する達成状況		H17実績値 との比較
指標1	41.1	44.0	39.1	39.7	44.3	○		○
指標2	—	—	67.9	75.6	75.0	×		○
指標3	—	18	15.2	19.2	10.7	○		○
指標4								

○到達、×未達 ○向上、×低下

【4 現状把握と今後の方向性】

(1)現状の評価と課題

- 平成20年度の検診制度の改正により実施している「特定検診」の受診率は依然として低い状況にあるが、生活習慣病予防等健康診査を定期的に受けている人の割合は過去5年間の推移からみると、数値が向上を示してきており、受診率向上に向けた取組みが徐々にではあるが浸透してきているものと思われる。
- 乳幼児検診の満足度については、目標値には到達していないが、ほぼ良好に推移している。さらにモニタリングを継続し、保護者からの要望等を捉えた上で、改善に努めていく。
- 「20代のやせ(痩せ過ぎ)」は年々増加しているが、朝食を欠食する20代から30代は減少している。日々の生活に食事を中心とした健康的な内容を取り入れられるよう、様々な機会に「健康づくりの知識」を普及していくことが必要である。

(2)施策を取りまく状況の変化(社会環境の変化、住民、議会等からの要望等)

- 少子高齢化が進む中、社会構造の変化やライフスタイルの変化に伴い、本市では死亡原因はがん、心疾患や脳血管疾患等の生活習慣病が約6割を占めるなど、生活習慣に起因する疾患の増加が著しいことから、市民一人ひとりが生活習慣を見直し、一層の健康増進、発病を予防する一次予防に重点をおいた健康づくりの推進が重要である。
- 本市における国民健康保険の疾病別医療費状況によると「循環器系の疾患」が受診件数、点数とも一番高い状況にあり、内臓脂肪型肥満の問題を抱えている市民が多いことが予想され、重大な生活習慣病にならないために、健診・保健指導の充実が求められている。

(3)今後の取り組み方針(改善・改革の方向性)

- 市民が健やかに心豊かに生活できる社会を実現するために、発病を予防する一次予防と、健康を増進するための環境整備に重点を置いた健康づくりの対策と支援を行う、
- ①ライフステージに応じた健康づくり…市民の健康の保持増進を図る各ライフステージに応じた保健・医療施策を進める。
- ②市民主体の健康づくり…市民一人ひとりが健康の大切さや重要性を理解し、健康づくりに向けて自発的に取り組めるよう支援。
- ③健康づくり支援のための環境づくり…行政機関、保健、医療機関、地域、学校、民間事業者、ボランティア団体、NPO(特定非営利法人)など様々な関係者が連携・協力し、気軽に健康づくりを実践できる環境づくりを総合的に進める。
- ④「元氣」を増やす健康づくり…健康づくりは疾病対策だけでなく、こころや体の元氣づくり、生きがいづくりや住み良い地域づくりが大切であり、「病気を減らす健康づくりから、元氣を増やす健康づくりへ」という考え方のもとに、市民一人ひとりの「元氣づくり」を進める。

【5 パブリックコメント】

--

【6 行政評価委員会意見】

(1)現状の課題認識に関する意見
(2)今後の方向性に関する意見
(3)施策等に関する評価意見

【7 行政評価会議（最終評価）】

(1)重点的に取り組む事項(新に取り組む事業、規模拡大を図る事業等)
(2)見直しすべき事項(廃止、縮小、統合、改善を図る事業等)
(3)その他特記事項

施策名 保健・医療の充実

	人件費	事業費	総コスト	市民一人あたり
平成22年度施策コスト	254,990	435,031	690,021 千円	11,312 円

施策の体系		担当課	H22決算					現状の課題 (課長評価1次)	今後の方向性 (課長評価1次)	
			人工 (関係課含む)	特定財源						
目次No.	事業名				うち地方債	一般財源	事業費計			
①健康づくりの推進と情報の発信										
3-1	1	地域健康づくり支援事業	保健推進課	2.09	28	-	13	41	キーパーソンの発掘と育成が必要であるが、高齢化などにより人材が不足している。	健康意識が高まる中、地域の健康づくり活動が継続して実施できるよう、連携した取り組みを進めていく。
3-2	2	こころの健康推進事業	保健推進課	0.10	252	-	-	252	現状では、自殺者・未遂者の情報を得にくい状況になっている。	うつ病や自殺予防に関する正しい知識の普及啓発を進めるとともに、受け皿としての相談体制を整備していく。
3-3	3	保健センター管理運営事業	保健推進課	0.19	-	-	4,582	4,582	一般開放(運動器具)の利用者数が減少している。	一般開放の利用促進を図るため、市HP、広報、自治会回覧などによるPRを行う。
3-4	4	浜益保養センター管理運営事業	地域包括支援センター	0.30	-	-	9,078	9,078	利用者が年々減少している。また、開設後年数を重ね施設の老朽化が進んでいる。	他施設との提携や各方面へのPRに努め、利用者増を図る。
②ライフステージに応じた健康づくりの充実										
3-5	5	成人検診事業	保健推進課	2.37	2,929	-	20,208	23,137	各がん検診受診率が、いずれも全道平均(H21実績:胃11.6%、肺11.6%、大腸14.0%)を下回る状況となっている。	市民の健康意識の高揚を図ることや地域との協働による周知啓発の強化。また、特定対象者の検診料金の軽減なども検討。
3-6	6	健康増進事業	保健推進課	1.99	1,543	-	1,701	3,244	事業参加者の年代が高齢者に偏っており、本来対象とすべき働き盛り世代が少ない。	H23年度に策定予定の「石狩市健康づくり計画」に沿って、取り組みを進める。
3-7	7	母子相談・指導事業	保健推進課	2.65	-	-	351	351	・5歳児健康相談(試行)の認知度が低い。 ・市外通園児への事後対応の体制整備について検討が必要。	5歳児健康相談をH23年度は市内4ヶ所から7ヶ所、H24年度以降は可能な限り全園に拡大していく。
3-8	8	母子健康診査事業	保健推進課	2.47	8,538	-	23,931	32,469	虐待の早期発見のため、乳幼児健康診査未受診者への迅速な対応が必要となっている。	母性及び乳幼児の健康増進、異常の早期発見のため、受診勧奨や健診後の事後フォローを今後とも進める。
3-9	9	赤ちゃん訪問事業	保健推進課	1.28	1,112	-	-	1,112	長期里帰りや入院中で連絡が取れない、訪問拒否等の場合がある。	訪問率の向上を図るため、長期不在者や訪問拒否者などへの対応を強化する。
3-10	10	女性のがん検診促進事業	保健推進課	0.20	5,036	-	5,017	10,053	初回受診者及び若年者の受診率は従来よりも伸びているが、全体としての受診率向上に結びついていない。	若い世代や初回受診者が継続して受診できるよう、受診しやすい検診体制の整備と積極的な受診勧奨を行っていく。
3-11	11	特定保健指導事業	保健推進課	1.96	132	-	326	458	特定保健指導の前提となる「特定健康診査」の受診率が極端に悪い。	積極的に個別勧奨を行い、実施率の向上を図る。
-	12	子宮頸がん等ワクチン接種事業	保健推進課	0.20	9,302	-	10,389	19,691	この事業は本年度事業評価対象外ですが、「市民一人あたりの事業費」を算出するために記載しています。	
-	13	新型インフルエンザワクチン接種助成事業	保健推進課	0.40	2,639	-	880	3,519		
-	14	母子健康手帳等交付事業	保健推進課	0.55	-	-	38	38		
-	15	感染症等予防対策事業	保健推進課	1.19	4,022	-	41,956	45,978		
③地域医療・救急医療体制の充実										
3-12	16	地域医療支援事業	保健推進課	0.04	-	-	14,300	14,300	受診者数の減や診療報酬の変化により、収支が悪化傾向にある。	・H24年度以降の拠出金は、過去の決算状況を勘案する。 ・補助対象経費等の一定のルール化、要綱の見直しを行う。
3-13	17	浜益国民健康保険診療所運営事業	浜益国民健康保険診療所	5.50	34,265	-	44,856	79,121	浜益区の人口減少や、診療報酬点数の減額改定の影響等から、診療収入の減少傾向が続いている。	引き続き採算性の向上のため、診療体制の強化や経常コストの削減等の努力を行っていく。
④その他										
3-14	18	後期高齢者医療特別会計運営事務(保健事業)	国民健康保険課	0.15	2,949	-	317	3,266	・改めて受診する必要の無い被保険者が多い。(健康診査) ・実施期間終了近くにキャンセルする者がある。(脳・人間ドック)	・現状どおり継続。(健康診査) ・期間内に受診するよう勧奨を行っていく。(脳・人間ドック)
-	19	健康づくり計画策定管理業務	保健推進課	0.30	-	-	76	76	この事業は本年度事業評価対象外ですが、「市民一人あたりの事業費」を算出するために記載しています。	
-	20	重度心身障がい者医療費給付事務	国民健康保険課	1.35	112,409	-	53,048	165,457		
-	21	後期高齢者医療特別会計運営事務(資格・給付)	国民健康保険課	1.30	15,629	-	-	15,629		
-	22	後期高齢者医療特別会計運営事務(賦課)	国民健康保険課	1.30	3,179	-	-	3,179		
合 計				27.88	203,964	-	231,067	435,031		